

2008年度（平成20年度）
特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター 事業報告書



特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター

兵庫県宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1-3F

TEL 0797-85-7766

FAX 0797-85-7799

E-mail zukanpo@hnpo.net

URL <http://www.hnpo.comsapo.net/zukanpo/>

2008年の振り返り

宝塚NPOセンター 理事兼事務局長 森 綾子

特・宝塚NPOセンター11年目は新規事業として経産省の「中間支援機能強化事業」を特・ソーシャル・デザインファンドと協働で受託しました。全国8か所の中間支援組織を支援するという事業です。当センターは、富田林や和歌山県の中間支援組織を支援するという事業を展開し、コミュニティ・ビジネスのノウハウを伝授してきました。

また、宝塚市との協働が進められた1年でもありました。はじめて市の職員の研修を担当し市内NPOのことや協働についてワークショップなどを行いました。また、何度も打ち合わせや話し合いを重ねることで、お互いを知り合うことができました。この研修を契機に、次々と計画が湧きあがり毎年行っている自治会・まちづくり協議会のイベント「まちづくりフォーラム」の実行委員会に入ることになり、今年度のテーマも「みんなでつくろう宝塚～まちづくりとNPO～」としてフォーラムが開催されました。このイベントのおかげでNPOと自治会・まちづくり協議会がとても親しくなれました。また、今後10年先を見据えたまちづくり計画策定の時期も迎え、いかに市民が参画参加・協働したまちづくりを行うかについてみんなで話し合う機会を持てました。

コミュニティ・ビジネスがいっぱい花咲くまちになれば、きっと安心して安全なまちづくりができると信じて、こつこつ事業を進めてきましたが、この1年は画期的に飛躍した年になりました。

2008年度 NPO法人設立・CB起業支援の成果

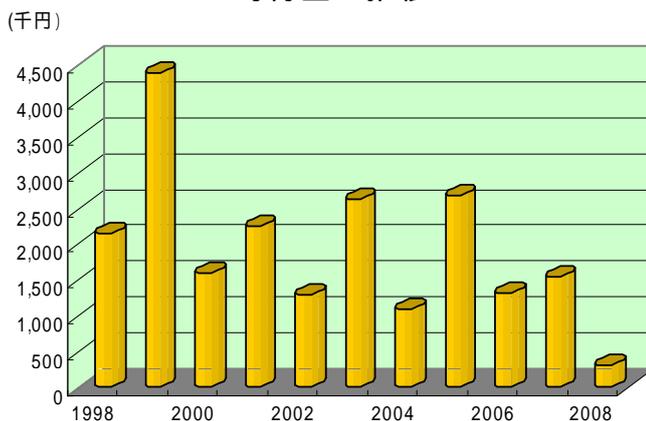
宝塚NPOセンター理事兼生きがいしごとサポートセンター長 吹曾 幸雄

生きがいしごとサポートセンター阪神北では、NPO法人の設立認証申請書類の作成から、設立総会の議事運営、設立登記申請書類の作成、法人設立後の設立登記完了届から、資産総額の変更登記、役員変更、定款変更登記等の諸届けまで、親切、丁寧に相談者のペースに合わせて、相談者と一緒に考え、解決する姿勢で日々取り組んでいます。20年度は、前年度に引き続き、特定非営利活動法人・CBの助成金・起業相談・運営相談等が増加しました。20年度中にNPO法人設立・起業した団体27、設立認証申請書が受理され、2009年4月～6月に成立する法人7、申請書類作成中の団体3となっています。

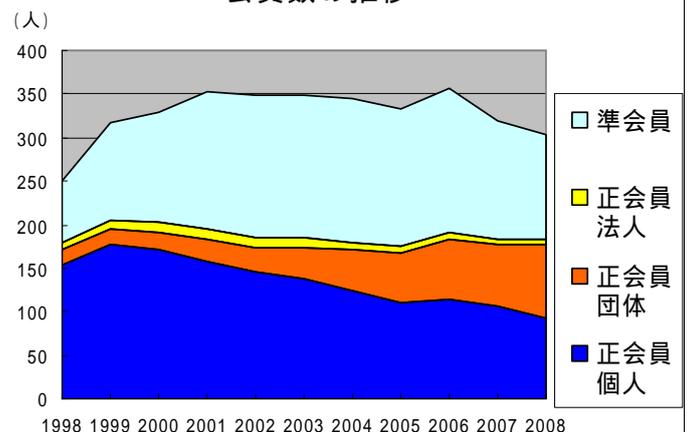
法人設立・CB起業支援の相談内訳は、これまでの法人設立件数等の増加に伴って、法人設立申請228件、運営相談598件、起業（助成金）相談124件、登記申請107件、役員変更53件、定款変更28件、事業報告45件、登記後届37件、合計1220件で、対前年度比で305件（33.3%）の増となりました。ちなみに、4年前の2004年度は、607件でしたから、月平均51件で、今年度月平均が102件となり丁度2倍となりました。

寄付・会員数の推移

寄付金の推移



会員数の推移



(1) 寄付

2009年3月末で11年間の寄付金総額は21,230,180円となりました。2008年度の寄付金は36件（33個人・5団体・1企業）で296,683円の寄付をいただきました。

(2) 会員

2009年3月末の会員数は303名（正会員個人：92 法人：6 団体：85 準会員120）で正会員個人、準会員が減少する一方で2003年からは団体会員が毎年10団体増加の傾向にあります。増加の要因は法人設立時から運営までサポートため入会率が高く、継続率もほぼ100%で団体運営をする上でセンターの役割は会員の数字にも表れています。

宝塚NPOセンター啓発事業

(1) ボランティア

2008年度のボランティア時間はニュースレターの発行回数が減少したことで下降しましたが、ここ数年はメンバーも変わらずに、それぞれパソコン入力、資料の整理、センターの整理整頓など担当ごとに支援を頂いています。またメンバーも定期的に食事会を開催して、親睦を図っています。さらにボランティアはセンターのみならず、高齢者施設の歌唱やデイサービスでのヨガ、他のNPO法人のサポートまでと活躍をしています。



(2) 講演

ここ数年はCBや起業のテーマが大半でしたが、シニアや団塊世代を対象とした地域貢献型起業やボランティアのテーマも増加しています。計30件。

(3) 視察

「中間支援組織のあり方」や「コミュニティ・ビジネス」「行政との協働」について知りたいという依頼が5件、25名。日中社会起業家交流プロジェクト訪日団16名も震災復興の目的に来日されました。

ネットワーク事業

(1) ソリオ宝塚ふれあい夏祭り(8月23日)

今年で4回目を迎えました。当センターは事務局を担当し、自治会や婦人会、子ども会、名店会、ソリオ宝塚都市開発㈱、宝塚市文化振興財団など役割分担もスムーズに行われ、当日は大勢の市民が夏の一夜を楽しみました。



(2) 兵庫県 阪神北県民局「きらっと カフェ」協力

市町域・活動分野を越えたネットワークづくりを目的に09年1月より毎月1回始まった「きらっと カフェ」に阪神北地域の中間支援がサポート。「地域づくり活動」「助成金情報」「自治会への加入促進」など情報を提供しています。



(3) 第17回「ひょうご女性未来会議」開催準備

兵庫県下の新しい女性のネットワーク会議が2009年11月宝塚のソリオホールで開催されます。1月より月に1回打ち合わせをしています。



阪神NPO連絡協議会

阪神間のNPOのネットワーク組織として2000年4月に発足し、月例会は86回を迎え、研修や情報交換、NPOの啓発活動などに取り組んでいます。

今年度は7/12～13「新しい時代の協働～起業家がめざすもの～」として行政、企業、NPOの各セクターがどのように協働してゆかかを、講演、パネルディスカッション、ワークショップという構成で宿泊研修を開催。NPOスキルアップ研修会として11/15～16「経営力UP!お役立ち1泊研修会」を開催し、NPOリーダー及びスタッフのスキルアップとネットワークづくりができました。

またひょうごボランタリー基金で減災を考えるネットワークづくりをテーマに1/17「2009今だから語ろう阪神淡路大震災」フォーラム開催と、阪神間のNPO法人に向けて「いざ・まさかの時にNPOは何ができるか」のアンケートをまとめガイド集を発行。いざという時に役立つ絆作りの1歩となりました。このようなネットワークにより蓄積された情報を活用することで阪神間のCB・NPOに対し効果的なサポートサービスを提供しています。



近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度

退職された方や豊かな経験をお持ちの方を、地域でがんばるNPO活動に役立てていただくことで生きがい作りや地域への貢献をめざしているこの制度は、今年で9年目となりました。阪神間の担当支援機関として8/12セミナーを開催、ボランティアを希望する人とボランティアを求めているNPO法人との「出会いの場」を提供。今年度は9団体、19人のコーディネートができました。



参加者の声

以前から活動内容を聞いていて、やってみたいと思っていたので見学会を機会に気軽に参加できました。「何かしたいけれど自分には、どんなことができるかな?」と考えているばかりではなく、「何もできないから教えてもらおう、仲間に入れて!」というノリで自然体で動けば、道は開けるというのが実感です。

～2008ボランティア語録～
無理せず、楽せず、楽しんで
1自分のため、2世の中のためと考える
これからの生き方を見つけること
考えすぎず、どんどんお試しOK!
今となっては、生活の一部

(1) 宝塚市内のNPO法人

2008年度末時点で67法人が活動しており、2008年度には11法人が設立され内7法人は当センターでサポートしました。また分野の特徴としては、従来から割合の多い福祉系に加え、子ども支援・社会教育関連の事業が増加しています。

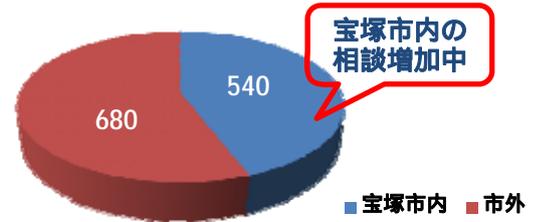
(2) 運営相談

2008年度の傾向としては、法人申請関連の相談が増加しています。既存団体の事業拡大に伴う法人化やまちづくり関連の新規相談の増加などが主な理由です。法人設立以降の登記申請、登記後届、役員変更など、法人運営上の相談も増加しています。また事業運営の経年に伴い経営課題も変化し、会計処理や税務など専門家のサポートを受けて相談に対応するケースも目立っています。

(3) 市民活動団体、宝塚まちづくり協議会などCB起業・経営支援業務

CBに関する起業・経営相談は、経営・運営相談に継続的に来られるリピーター、及び既存団体による第二創業的な起業相談もあり、面談件数は大幅に増加しています。まちづくり協議会からは地域課題に応じた相談依頼もあり、市民活動団体が行政からの委託や指定管理者制度等を受けるためにNPO法人化を検討している例もあります。事業分野や経営課題は多岐にわたる傾向が見られますので、地域に密着し、きめ細かい支援を積み重ねてきた当センターのノウハウを活かしたCBサポートの必要性は、今後ますます高まると考えられます。

2008年度法人化および運営相談件数



(4) まちづくり等の情報発信支援

宝塚まちづくり協議会20団体、まちづくり協議会関連事業・団体、宝塚NPOセンター等で構成される「宝塚まちづくり情報」ポータルサイトを「関西ええこと.mot」上で運営。

宝塚まちづくり情報

検索



ブログ講座を開催し、イベント情報や地域情報等の広報活動をサポートしています。また市内NPO法人や活動団体をFM宝塚「話してみれば」で17団体紹介、年4回発行の「宝塚NPOセンターニュースレター」では毎回NPO法人を紹介、メールニュースではセミナー・イベント情報やCB事業所の求人情報などを月2~3回発信。「宝塚市協働のまちづくり公募補助金」に関する説明会を開催し、まちづくり協議会、NPO法人、市民活動団体など26団体の参加がありました。



(5) 啓発講座・交流会

NPO・CB講座2回、NPO法人設立講座7回、NPO法人実務講座3回を開催し、70名の参加がありました。

交流会としては「宝塚市NPOネットワーク会議」を開催。市内のNPO法人や任意団体の活動紹介・情報交換や、宝塚NPOセンターのサービス紹介、宝塚市まちづくり推進課よりNPOとの連携や協働推進の取り組み紹介などを行いました。



(6) 行政との協働環境の構築に向けて

宝塚市役所との協働環境構築に向けて、職員を対象とした「行政とNPOの協働をすすめるためのセミナー」を3回シリーズで企画・実施しました。講義だけでなく、グループワークや市内NPO法人代表者とのワークショップを取り入れ、「協働」を考える基盤づくりに取り組みました。

また12月1日「まちづくりフォーラム」に初めて主催メンバーとして参画。自治会連合会・まちづくり協議会の方々と共に、「まちづくりとNPO」をテーマにしたパネルディスカッションを開催しました。



兵庫県「コミュニティ・ビジネス等生きがいごと支援事業」

阪神北エリアに生きがいごとサポートセンター阪神北が誕生して以来、7年連続宝塚NPOセンターが継続して受託し、安定した成果を生み続けています。この7年で面接者1.7万人、電話相談2.4万件にのぼり、起業団体は194件を超えました。



個別相談で迅速な課題解決!



(1) 2008年度成果の概要

今年は昨年に引き続き、起業後の運営・経営相談ともに増加しました。特に、県への報告時期に必須となる事業報告書や、役員変更に伴う登記書類等の相談が増えました。これは7年の相談継続の中で、支援してきたCB団体の事業や組織の変化・発展に伴うニーズ増加と思われます。新規起業家も247人と高い水準です。また新規求職相談も173人と倍増し、雇用悪化に伴う職業紹介事業へのニーズの高まりも感じる1年となりました。

主な成果は、雇用創出数250(目標数210人)、起業団体数27(21)、面接者数2,618(2,100)、新規起業相談者数247(目標210)、新規求職者173(目標100)、啓発イベント・講座等参加者797(目標300)です。すべての項目において、目標値を上回る成果をあげることができました。

2008年起業をお手伝いした27団体

NPO法人:

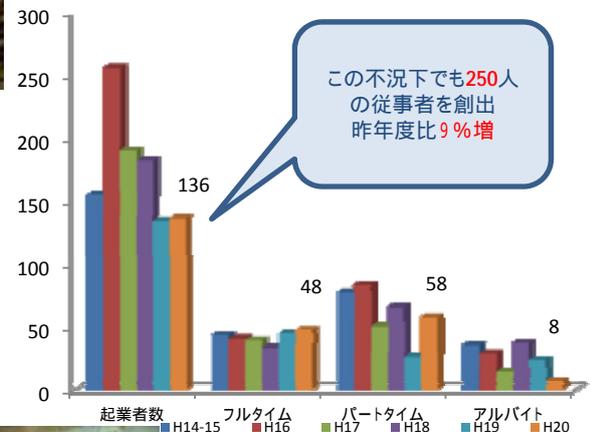
友愛こぶし(丹波)・宝塚西谷里山クラブ(宝塚)・MCまーず(神戸)・関西アロマセラピストフォーラム(宝塚)・アズイット(宝塚)・コミュニティリンク(宝塚)・ネパール・ヨードを支える会(宝塚)・ふくろ高平の里(三田)・猪名川在宅介護を考える会(猪名川)・川西もみの木(川西)・燦々(豊岡)・近畿200年住宅再生NW機構(宝塚)・鴨庄(丹波)・C・キッズ・ネットワーク(宝塚)・ふれんど(川西)・裸足の楽園(川西)・サポートのぎく(新温泉町)・カルディオ(宝塚)・えこあーす丹波(丹波)
株式会社: イデア・ビジネススクエア(宝塚)
任意団体: PACCO ART LABORATORY(神戸) ありゆる・しあんでいふい〜く(宝塚)・PONIC(神戸)・スローヨガ(西宮)・パソコンータルサポート TOMITA(宝塚)・フェアリング(宝塚)・中国伝統菓子劉家(宝塚)

(2) 講座・研修・啓発イベント等; 参加797名

- 実務講習会 (CB入門・NPO起業・事業報告)
- 少人数ワークショップ (会計・PC活用)
- 技能・資格取得セミナー
- 専門家派遣
- インターンシップ研修
- 都会と田舎を結ぶCB生産物見本市
- 行政・企業・NPOを結ぶ協働マネジメント宿泊研修
- 団塊世代のためのコミュニティジョブ入門



起業支援と生きがいごと創出 2002~08年

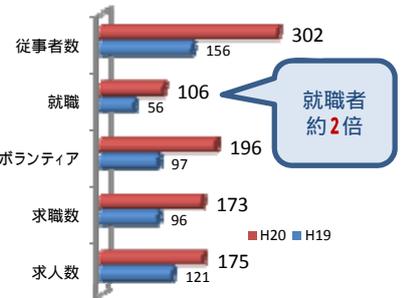


この不況下でも250人の従事者を創出
昨年度比9%増

(3) 無料職業紹介事業

急激に雇用情勢が悪化した2008年であったにもかかわらず、昨年の約2倍の106人をマッチング。不況下においてこそ地域密着の丁寧なマッチング相談と宝塚NPOセンターならではのネットワークが身を結んでいます。起業による雇用創出では250人と昨年度より1割増加しています。派遣切りが吹き荒れた年末から、県下6つのいきがいごとサポートセンターが協力して「緊急!雇用応援プロジェクト」を立ち上げ、2月に合同起業・就業説明会を開催しました。NHKニュースでも取り上げられ、雇用悪化に苦しむ求職者が県全域から300名集まり、その後各センターにて相談・情報提供を継続しました。

対!派遣切



就職者約2倍

(4) 起業・経営個別相談の成果

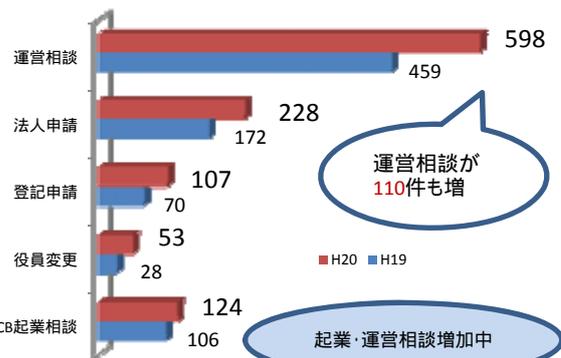
コツコツ個別相談増加中... 起業から組織・事業継続相談へ

2008年度にNPO法人設立又は起業したのは27団体でした。活動内容も、環境・IT・古民家再生・コミュニティ交通・スポーツ・ひきこもり支援など多様化しています。設立から継続した運営相談が増え、2008年は相談合計が1220件、昨年度比33.3%増加しました。

遠方にも出張相談 ふるさとCB創出支援事業へ発展

2003年から但馬・丹波地区で出張相談・講座を続け、13件の起業をお手伝いしてきた実績により、兵庫県の新規事業「ふるさとコミュニティビジネス創出支援事業」のモデルになる団体と評価され、2009年度但馬地区を担当することとなりました。

現地相談会



運営相談が110件も増

起業・運営相談増加中

兵庫県の小規模集落から元気発信! 都会と田舎を結ぶCB生産物見本市事業

但馬地域での支援がご縁となり、浜坂温泉町で安心・安全な米と野菜作りを営む「パイカモ楽農会」から、せっかく丹精した作物を販売できないかと相談がありました。そこで消費地としての宝塚(都会)と安全野菜の産地(田舎)を結んで継続可能な農業ビジネスになるよう支援を開始しました。

8月ソリオ宝塚夏祭りでの見本市がはじめての商売となり。値段の付け方が分からない、商品になるほど数量がない、地元の合意取り付けが大変など苦労もありましたが、当センターが随時サポートしながら実現し、当日は飛ぶように売れ16万円売りました。同時に都会の高齢者施設やレストランと商談会を行い、継続的な購入を可能にしました。

その後、生産者のモチベーションも上がり、姫路楽市楽座への出店、地元スーパーの安心野菜コーナーへの出荷と発展しています。

今では地元観光も活用しながら、「よみうりファミリー」と共同で田舎ツアーを企画し、地元野菜・地酒販売にも一役買う団体となり、浜坂温泉町CB活性チームが広がっています。

若者・子ども応援事業

若者・子ども応援事業は、2008年度から宝塚市の委託を受け「宝塚市若者就労支援事業」が新たにスタートしました。また「関西子ども・若者サポーターズネット」は、ひょうごボランティア基金「行政・NPO協働事業（NPO提案型）」として2年目も採択され、兵庫県政策局ビジョン課を協働パートナーとしてひきつづき事業進展に取り組みました。

(1) 関西子ども・若者サポーターズネット

この事業の目的は、関西で暮らす就労・就学・社会生活に困難を抱える若者・子ども、その家族が安心して暮らせる社会・地域・支援団体サポートを目的としています。本人が適切な支援機関へスピーディに継続的につながることを目指し、また同時に、支援団体と行政・当事者・団体同士の連携を深めるための中間支援も行っています。2008年度はポータルサイト「関西子ども・若者サポーターズネット」で情報発信する行政機関・民間団体のヒアリング・データ掲載、同時に支援ガイドブック作成のための調査を進めました。また支援団体による学習・交流会をテーマ別に5回開催、子ども・若者支援団体同士のネットワークや課題解決に向けた情報の共有を推進しました。最終年度の2009年度には以下の3つの柱となる事業を進めます。

情報発信：ブログポータル「関西子ども・若者サポーターズネット」の完成・運営
情報発信：「関西子ども・若者のための支援ガイドブック（仮）」
及びリーフレットの発刊・配布
イベント：行政・NPO合同 関西子ども・若者応援機関・団体説明会



子ども・若者応援事業 ポータルサイト画面



(2) 宝塚市 若者就労支援事業

宝塚のハローワーク「ワークサポート宝塚」の若者しごと相談広場事業と連携し、カウンセリングには来るがなかなか就労へつなげにくい若者たちのための、「職場体験実習」を含む「若者就労支援事業」を実施しました。

対象：宝塚在住者を中心とした概ね15～35歳までの就労に課題を抱える若者
長期無職、社会的ひきこもり状態にあった方、離転職フリーターなど
目的：事業を通じて、人間関係や仕事に不安のある若者たちが自信を取り戻し、
社会参加・就労など一人ひとりに合った適切な進路選択を行えるよう
サポートする
プログラム：就労支援セミナー、生活訓練・職場体験実習、相談

職場体験実習の訓練生は、10日間の生活訓練、2ヶ月の職場体験を経て、無事修了式を迎えました。修了後、職業訓練を受講して就職準備、支援機関でサポートを受け仕事探しを開始、アルバイト開始、福祉制度を利用して地域で社会参加をスタート...など、一人ひとりの状況に合った多様な進路状況となっています。

職場体験実習先は、宝塚市内を中心に阪神地域のNPO・CB事業所に協力依頼を行いました。その結果、多くの方々が事業主旨を理解して下さり、20カ所の事業所が訓練生受入れを快諾、ご協力いただくことができました。地域、CB事業所、若者支援団体、行政機関など多くの関係者の方々の協力・連携があつてこそ、成果を出すことができた事業だといえます。



インキュベーション事業

インキュベーション事業は、バスマップ（紙、Web、ブログ）、ひょうごアドプト事業、関西ええこと.mot（地域ポータルサイト事業）、経済産業省地域新事業創出発展基盤促進事業費補助金（地域新事業活性化中間支援機能強化事業）、阪神北NPOハウスに取り組んでいます。バスマップは「阪神地域えきバスマップ。」と改称し第3版を発行、新規に兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所と「ひょうごアドプト」推進の協働事業を開始しました。

(1) Web版/紙版バスマップ・バスマップブログ

行政とNPOの協働事業として、継続しています。兵庫県阪神地域の公共交通関係会社のバス停・駅情報を一枚にまとめた紙版の広域バスマップは、名称を「阪神地域えきバスマップ。」と改称し、第3版を発行・配布しています。2008年度より著作権が宝塚NPOセンターに移り、NPOサイドの役割がこれまで以上に重要になりました。ブログではバス停情報のみならず 周辺施設や観光情報も発信。バスマップ探検隊が公共交通を使いながら“まちで遊ぶ”コンテンツを随時掲載。公共交通の利用促進を継続的にPRしています。ブログのページビューは約1,000～2,000PV/日、累計で100万PVを超えました。公共交通サブ・ポータルも拡充し、交通情報や関連団体情報が集積され、さらなる利便性の向上と公共交通利用促進を図ります。



阪神バスマップ 検索

バスマップブログ <http://www.hnpo.comsapo.net/busmap/>
 Web版バスマップ <http://hnpo.net/n/busmap/>
 阪神都市圏公共交通利用促進（バスマップ関連サブ・ポータル）
<http://www.hnpo.comsapo.net/portal/ptpr/portal.index>

2005～2007年度ひょうごボランティアプラザ行政NPO協働事業助成対象
 平成18年度近畿運輸局阪神都市圏バス交通利用促進調査事業

(2) ひょうごアドプト推進事業

行政とNPOの協働事業として、新規にスタートしました。河川の清掃，里山の保全，道路の花壇の維持管理などを地域のボランティア団体・地縁組織・NPO等が担い，それらの活動に必要な資材・用具等を兵庫県が応援するという制度。その情報発信や制度全体の効率的運営を実現し，将来にわたって活動を継続していくために，協働事業として取り組んでいきます。



事務局ブログ <http://www.hnpo.comsapo.net/hadh/>
 ひょうごアドプト・ポータルサイト
<http://www.hnpo.comsapo.net/portal/hyogoad/portal.index>

ひょうごアドプト 検索

(3) その他

関西ええこと.mot（地域ポータルサイト事業）や阪神北NPOハウスにも継続して取り組んでいます。関西ええこと.motの利用者IDは500をこえ，約30万ページビュー/月あります。地域・テーマごとのサブポータルサイトは11となりました。

関西ええこと.motで情報発信中！！

関西ええこと 検索

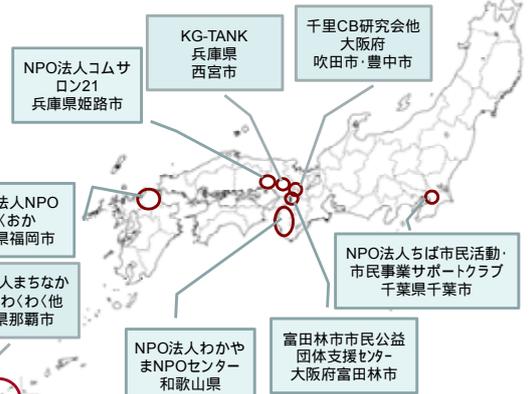
中間支援組織の育成事業

経済産業省 地域新事業活性化中間支援機能強化事業

NPO法人ソーシャル・デザイン・ファンドと共同で，2008年度から3年間事業として経産省の補助事業に採択されました。全国の8つの中間支援NPOの基盤強化に取り組んでいます。宝塚NPOセンターが蓄積してきた，情報発信・関係者管理，NPO法人設立・運営，会計実務・事業報告，起業相談，リーダーシップ&ネットワーク，資金調達・基金事業，協働事業の創出・運営などの中間支援サービスのノウハウ・ツール等を，提携先にハンズオンしていきます。



経産省 中間支援 検索



【事務実務】

情報発信・関係者管理

地域ポータル、メルニュース、関係者管理、その他総務系

NPO法人設立・運営

法人申請、定款作成、登記、年度報告書ほか

会計実務・事業報告

会計処理全般、助成金処理のツツ、事業報告書

【コミュニケーション】

起業相談

起業相談の受け方

リーダーシップ&ネットワーク

経営者として、相談者(顧客)との、スタッフとの、既存の組織・仕事とつなぐ、ほか

【ビジネスチャンス創出】

資金調達・基金事業

コンソーシアム形成と資金調達、収益事業創出、寄付・助成基金

協働事業の創出・運営

地域行政用語と民間用語の通訳、協働事業の創出(企画→実験→導入のノウハウほか)

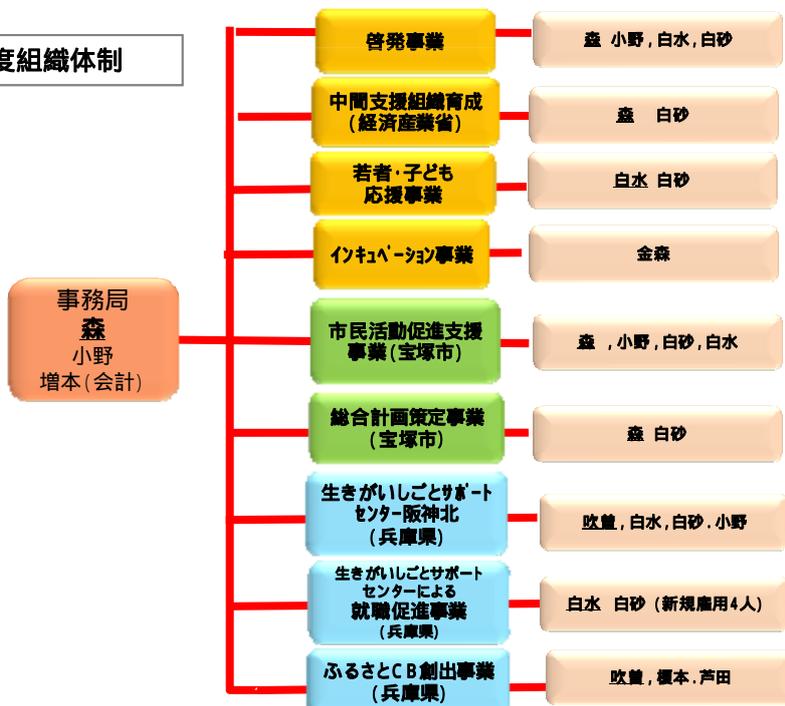
2008年度収支計算書

科目	当初予算	決算額
(資金収支の部)		
経常収入の部		
会費収入	1,500,000	1,691,000
寄付金収入	800,000	296,683
助成金・補助金収入		
CDC事業補助金	12,500,000	12,500,000
その他助成金・補助金収入	600,000	600,000
若者・子ども応援事業助成金		1,000,000
若者・子ども応援事業助成金		500,000
事業収入		
啓発事業収入	2,000,000	2,015,657
若者・子ども応援事業収入	0	0
インキュベーション事業収入	3,800,000	1,781,000
CDC事業収入	995,000	274,500
委託収入		
宝塚市民活動促進事業収入	8,085,000	8,085,000
宝塚市若者就労サポート事業収入	961,000	961,000
兵庫県若者就労サポート事業収入	1,500,000	1,823,850
宝塚市起業・団塊委託		2,277,450
兵庫県就労促進事業収入		395,008
その他収入		
受取利息		6,478
雑収入	120,000	176,486
経常収入合計	32,861,000	34,384,112
経常支出の部		
事業費		
自主事業費	2,953,000	3,059,882
若者・子ども応援事業費	610,000	691,551
インキュベーション事業費	3,948,000	5,836,630
宝塚市民活動促進事業費	6,475,000	7,171,510
宝塚市若者就労サポート事業費	948,000	952,800
宝塚市起業・団塊委託		2,994,028
CDC事業費	13,495,000	13,723,210
事業費合計	28,429,000	34,429,611
管理費		
給与手当	528,200	613,930
八丁給与	0	58,000
法定福利費	50,000	46,989
福利厚生費	40,000	14,503
研修費	20,000	13,800
研修送費	20,000	39,145
渉外費	50,000	25,193
会議費	20,000	16,764
旅費交通費	10,000	0
通信費	10,000	0
印刷製本費	30,000	39,700
消耗品費	50,000	81,133
修繕費	50,000	34,344
水道光熱費	300,000	267,408
諸会費	150,000	92,100
支払手数料	10,000	24,577
別管理費	400,000	315,976
地代家賃	960,000	0
貸室使用料	20,000	0
リース料	120,000	0
保険料	38,000	28,336
租税公課	450,000	426,993
雑費	10,000	149,250
管理費合計	3,336,200	2,288,141
経常支出合計	31,765,200	36,717,752
経常収支差額	1,095,800	-2,333,640
その他資金支出の部		
未払法人住民税等	82,000	82,000
当期収支差額	1,013,800	-2,415,640
前期繰越収支差額	11,962,083	11,962,083
次期繰越収支差額	12,975,883	9,546,443
(正味財産増減の部)		
IV 正味財産増加の部		
当期収支差額(再掲)		-2,415,640
正味財産減少の部		
敷金償却額		240,000
当期正味財産増減額		-2,655,640
前期繰越正味財産額		12,272,083
当期正味財産合計		9,616,443

2009年度収支予算書

科目	2009年度予算額	備考
(資金収支の部)		
経常収入の部		
会費収入	1,900,000	
寄付金収入	350,000	
助成金・補助金収入		
CDC事業補助金	12,500,000	
その他助成金・補助金収入	1,000,000	
事業収入		
啓発事業収入	2,436,000	
若者・子ども応援事業収入	1,000,000	
インキュベーション事業収入	3,170,000	
CDC事業収入	605,960	
ふるさとCB創出支援事業収入	5,616,000	
委託収入		
宝塚市民活動促進事業収入	8,158,500	
宝塚市総合計画作成業務事業収入	5,607,000	
宝塚市若者就労支援事業収入	1,176,000	
就職促進事業収入	5,720,500	
兵庫県ひょうごサポート事業収入	2,200,000	
雑収入	150,000	受取利息を算入
経常収入合計	51,589,960	
経常支出の部		
事業費		
啓発事業費	2,953,651	
若者・子ども応援事業費	1,000,000	
インキュベーション事業費	5,196,000	
宝塚市民活動促進事業費	6,750,352	
宝塚市総合計画作成業務事業費	5,607,000	
宝塚市若者就労支援事業費	1,176,000	
就職促進事業費	5,720,500	
CDC事業費	13,105,960	別管理費、水道光熱費を算入
ふるさとCB創出支援事業費	5,616,000	
事業費合計	47,125,463	
管理費		
給与手当	0	
八丁給与	0	
法定福利費	0	
福利厚生費	15,000	
研修費	15,000	
研修送費	40,000	
渉外費	30,000	
会議費	20,000	
旅費交通費	1,000	
通信費	1,000	
印刷製本費	40,000	
消耗品費	80,000	
修繕費	35,000	
水道光熱費	350,000	CDC部分を除く
諸会費	92,000	
支払手数料	16,000	
別管理費	410,000	CDC部分を除く
地代家賃	960,000	
貸室使用料	0	
リース料	0	
保険料	29,000	
租税公課	430,000	
雑費	150,000	
管理費合計	2,714,000	
経常支出合計	49,839,463	
経常収支差額	1,750,497	
その他資金支出の部		
未払法人住民税等	82,000	
当期収支差額	1,668,497	
前期繰越収支差額	9,616,443	
次期繰越収支差額	11,284,940	
(正味財産増減の部)		
正味財産増加の部		
当期収支差額	1,668,497	
正味財産減少の部		
当期正味財産増加額	1,668,497	
前期繰越正味財産	9,616,443	
当期正味財産合計	11,284,940	

2009年度組織体制



役員

理事(理事長 副理事長)
 牧里每治(関西学院大学人間福祉学部教授)
 竹内 浩(社福・宝塚市社会福祉協議会名誉顧問)
 江守典子(阪神人形劇連絡協議会会長)
 名取千里(株式会社ティーオーエー常務取締役)
 吹筒幸雄(生きがいごとSC阪神北センター長)
 遠座俊明(大阪ガス株式会社)
 金森 康(ソーシャル・デザイン・ファンド代表理事)
 鶴丸悌二(高齢者問題を考え行動する会代表)
 森 綾子(宝塚NPOセンター事務局長)

監事

福岡則博(弁護士)
 森田 義(公認会計士 税理士)

顧問

小笠原暁, 石堂恵眼, 菅一郎, 山林知左子,
 藤井義正, 浅野仁, 多胡進, 山本麗子, 寺本伸仲
 小西孝彦